



岡村病院  
院内報

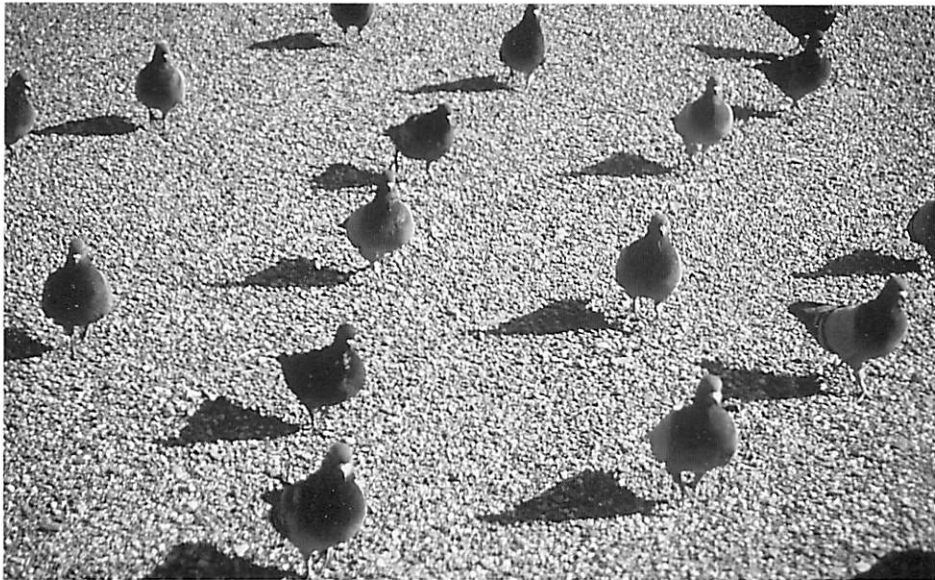
# 歩 (あゆみ)

第 38 号

発行 岡村病院  
編集 歩(あゆみ)  
編集委員会  
平成12年4月10日

## 岡村病院 基本理念

私たちは、患者さん本位を第一に考え  
高度な専門医療技術をもって  
地域社会に貢献することを目指します。



「 鳩 」

小谷了一先生 写

今月のことば

## 意識と積極性

「言うは易く、行うは難し」という言葉がありますが、「相手の立場に立って物を考える」とか、「患者さんの立場に立って考え、対応する」とかいうことはいつも言われていることで、私共もよく承知しています。しかし、実際になると自分の都合、こちらの事情だけで対応していることが多いのに気付かされます。また、年頭に立てた計画も、日が経つにつれて意識が薄れ、決心がしぼんでしまうようなことがよくあります。

ある人が「夢はだれでも持てる、しかし、夢を追い求めた者だけに扉が開かれる」と言っていました。計画が計画だおれにならないように、夢が夢で終わらないようにする為には、いつも意識して積極的に行動することが大事です。

昔の人は自分の決意や守るべきことを先人の名言や格言から採って“座右の銘”とし、いつも、その書き記したものを身近に置いて眺めながら、決意を新たにしたり、また自分を戒めたりしたといわれています。

私共も目標が目標だけに終わらないで、よい結果を生むように、意識することと、積極性を心掛けましょう。

# 介護保険と医療保険

院長 岡村 高雄

(心臓血管外科科長)



本年4月よりいよいよ介護保険制度が始まりました。多くの情報が既に皆様には届けていますが、複雑で、十分に理解ができないとお声も耳にします。この為、簡単に本院に通院中、又は入院中の患者様に対して介護保険と医療保険の違い、利用方法について述べさせていただきます。大ざっぱな表現になっていますので、詳細については多少異なる点があることをご承下さい。

介護保険は原則として65歳以上の方ならばどなたも加入することとなり、保険料が徴収されます。医療保険ではどなたも均一な同じ治療を受けられますが、介護保険では介護を必要とされるレベルによって受けるサービスの内容が異なってくることが医療保険と介護保険の大きな違いであります。また、医療保険は病気の治療を主体とした保険ですが、介護保険は身体介護を主体とした保険であることも違いであります。

寝たきりや痴呆などで常に介護を必要とする状態となった場合や自分自身で身の回りのことが困難な状況になってきた場合に、まず市町村の窓口に行き申請を行います。申請をすればご存じの如く市町村の職員が訪問調査に来て現在の生活の状況、介護の必要性の程度を把握します。また、同時にかかりつけの医師の所にも患者さんの病状についての意見書を求める書類が届き、医師がこの意見書に現在の状況を記載して市町村に返却します。この訪問調査と意見書を基にして介護認定審査会で審査を行い、介護認定と介護の必要程度を決定します。介護の必要程度は最も軽い「要支援」から最も多くの介護を必要とする「要介護5」までの6段階に分類されます。先に述べた医療保険との違いは、この介護度の違いに応じた介護を受けることができる点であり、介護度の程度により受けられるサービスが変わってきます。つまり介護度の

高い人は多くのサービスを受けることができるようになっており、全ての人に均一の介護サービスが受けられるわけではありません。場合によっては自立と認定されますと殆ど介護保険での介護サービスは受けられなくなる場合もあります。介護認定を受けた場合は、その後サービスの内容を居宅介護支援事業者によって作成して行きます。居宅介護支援事業者は既に多くあり病院、診療所が行っている場合もありますし、テレビなどで宣伝をしている業者も多数あります。居宅介護支援事業者に在り方でサービスの内容を作成をする人がケアマネージャー（介護支援専門員）と言われる方です。個人個人に応じたサービス内容を作成しますので、ご家族あるいは、ご自身が十分にケアマネージャーと相談をされて納得の行く内容を作成していただいで下さい。在宅の場合は訪問介護、訪問看護、訪問リハビリ、入浴介護などあり、また日帰りでの機能訓練等もあります。介護保険では基本的に、利用した内容の1割を自己負担としていますので、内容により自己負担の金額が変化する場合があります。自己負担の金額を予め判断した上で決定をされると良いと思います。

寝たきりや痴呆状態の場合は入院も可能となっています。老人保健施設、特別養護老人ホーム、介護を主体とする病院への入院が可能となります。最近では介護用の病室を有する病院も増加しつつありますので、ご相談をされれば宜しいと思います。

介護保険は先にも述べましたように介護を主体としていますので病気になった場合は医療保険を利用することが必要となり、一般の病院に転院することになる場合もあります。

本院では介護保険に対応するサービスは行っておりませんが、介護を必要としていた方が医療を必要とした場合には転院をしていただいで治療をさせていただいておりますし、また医療

での治療が終了し、介護が必要となった場合にも介護を主体とする病院と連携をしてスムーズなサービスが受けられるようになっていきます。

高齢化社会を迎えて医療と介護が分かれる時代でもありますし、また医療と介護は密接に結

びついた内容でもあります。皆様方が両方の制度の良き点をご理解いただき、上手に利用されることが今後は必要かと思われます。

ご不明、疑問点があればどうぞ何時でもご相談下さい。

## 国際建築家協会世界会議で紹介

昨年6月北京で開かれた国際建築家協会(U I A)の世界会議で当院の改築改装が千葉大学工学部デザイン工学科建築コース助教授中山茂樹先生によって紹介されました。その中で先生は岡村病院の計画の概念について次のように述べられています。

「岡村病院は45年前に設立された都市部にある病院です。病院は改築に当たって建築家に改築の基本概念として三つの要点を提示しました。

第一は病院の各科の能率をあげる改造であること。第二は患者さんにとって気持ちの良い環境を造り出すこと。最後に高度な医療技術に適合する設備であることです。

この改築のプログラムは全く新しい病院を創造することを目的としていました。」

ご紹介下さった中山先生から、ご講演の主旨についてお便りを頂きましたので次にご紹介いたします。

「『既存病院の今日と水準向上』現在の病院建築がかかえる大きな課題です。スクラップ・アンド・ビルド、作っては壊しを繰り返していた時代は過ぎ去ろうとしています。

こうした問題を取り上げて、国際建築家協会(U I A)の世界会議が昨年6月北京で開催されました。U I A事務局より日本の病院におけるこの課題への取り組みを紹介するよう要請を受けた筆者が取り上げたサンプルが『岡村病院』です。こうした事例が増え、良いものがいつまでも使われ続ける時代が来ること祈っています。千葉大学工学部 助教授 中山茂樹」

## 看護研究発表への取り組み

岡村病院 看護教育委員会

平成11年度の看護教育委員会の教育計画として、卒後3年目以上を対象に、研究発表に取組んでもらい、平成12年1月17日に当院にとって初めての研究発表会が開催できました。他の、看護職の皆様方からみれば、いまさら何を言っているかと思われるかも知れませんが、自分達が取組むのは本当に初めてのことでした。

院外においての研究発表会などには皆いろいろ参加していますが、“聞くはやすし、行うは難し”です。取組み前に看護研究の取組み方についての勉強会からの出発でしたが、心配していたより、研究への着眼点はよいところに向けてくれており、委員一同少し安心しました。発表件数は、外来1例、病棟各2例の計5例の発表でしたが、そのテーマを紹介しますと

1. 大腸内視鏡検査前処置についての検討
2. 入院患者の睡眠の実態について
3. 脳梗塞患者のADL向上を目指して

4. 検査前オリエンテーション用紙の効果
5. 閉塞性動脈硬化症により四肢切断を受けた患者の看護

どの研究も内容はともかくとしてまして、身近なものからの取組みでした。

看護研究は、よりよい看護サービスを提供する為に、積極的に取組んでいく必要があります。研究により様々な問題がすぐに解決できるものではありませんが、真の結果へつなぐことのできる過程だと思います。またこれが少しでも私達の看護サービスにつなぐことができれば良いと思っております。

今後、この研究を2回・3回と継続できるようにしていくとともに、研究の為の研究にならないよう、看護の質の向上も含め、取組んでまいりたいと教育委員および看護婦一同考えておりますので、皆様方のご協力もよろしくお願い致します。

春近き夜に思う

5階 畑山春猪

「名もなき花も春を知り」の歌のように、春はかけ足でやって来る。他県では大雪が舞い、氷や雪祭りの便りがテレビニュースを毎日にぎわしているというのに、わが街にはねこやなぎが銀色の羽毛の如く、菜種、そして梅・桃・桜とまるで順番の列を待ち切れぬかのような今日この頃、老いの身には季節にはついて行けずとも、何か一日一日が心せかされる思いの、眠られぬ夜ふとベッドに座してペンを取る気分……

南国の夜は烈しかった車の音も途絶えて静かに更けて行き、やがてまた人々の忙しく動き出す朝がやって来る。くり返される季節のいとなみ、自然の不思議さ、つくづく生きるということの素晴らしさを春には特に身にしてみを感じる。

生まれ来る小さな命もあれば、また反対に大役を果たして静かに去って逝く人もある。

人の世はなんと様々なんだろう。

春の芽ぶきが来るとき、毎年このやるせなさにはしばし立ちどまる思い。

戦争を肌で味わって来た自分達の年令には今の世の中の目まぐるしさは他人事のような気にさえなる。

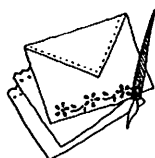
表向きは先進国といわれても果たしてこの日本が富んでいるといえるだろうか？

もう少し心豊かな国を望みつつ、それでも流れにそわねば生きて行けない住みにくい世の中だと過ぎし時代が逆に懐かしい。

「老兵は去るのみ」と若者は言うだろう。では去ったあとを背負って行く次の人達、もう少し地に足をつけて歩んでほしいものだと、お願いするのみです。2000年の春を期にして年寄りのたわ言と笑わずに、それを祈るのみ……

夜も益々更けてきたのでペンを置いておやすみなさい。

(2月29日記)



岡村病院の思い出あれこれ……

高知市 木村史子

桜の開花の待たれる季節が今年も巡ってきました。人生の節目の季節でもあるだけに、様々な過去の想いも交錯します。岡村病院と私の思い出を辿ってみますと、18年も前にさかのぼります。それは病院の西の道路を隔てた大学の宿舎に朝倉から転居して来た時以来になります。

当時、若い年代の家庭も多く、夕暮れになると子供達の歓声が宿舎の庭や隣接している校庭で鳴り響いていました。そんな時間帯に限ってしばしば腕白っ子の怪我がよく出たものです。どの病院も閉まっているそんな時の救急病院の役目を岡村病院がいつもして下さり、どんなに助かったか知りません。あの庭で遊んだ子供の多くは何かとお世話になって育ったと思います。私の子供も何度かお世話になりましたが、思い出の一つは、その頃、中学生になっていた息子が夜の8時頃になって「お腹が痛い」と訴えました。虫垂炎ではないかと思って心配になり、例の如く岡村病院に駆けつけました。やはり、「虫垂炎ですね」と言われ、早速手術となりました。その翌日、白衣姿の事務長さんが見舞いに来て下さいました。見ると私の知っている人だったので大びっくり！当時この事務長さんだった人の知り合いの方が何人かよく来院されていて、それが私も交わりのある人達だったので病院への親しみも増しました。

以前、夫の恩師がよく入院されていましたので、私共も何度かお見舞いに伺いましたが、今では懐かしい思い出です。

最近では、新しくなった新館病棟で私が膝の手術でお世話になりました。それから2年経ち今は時々湿布を頂きに行くぐらいになりました。

かつての事務長さんは今は相談役とかで、『院内報』の編集に当たっておられるそうです。

自然の温もりのある第一面の“今月のことば”院長先生の医学の心が伝わる文章など、岡村病院の在り方を反映しているように思えて、いつも懐かしく読ませていただいています。

いつまでも市民から頼られ、愛される病院であっていただきたいと思います。

# 俳句ポスト

水田雅吉子

羊羹を分厚く切って漱石忌 秋山武子

漱石忌は、文豪夏目漱石の忌日です。『坊っちゃん』や『吾輩は猫である』など読みますと、等身大の親しみを覚えます。漱石は俳人でもあったのですが、作品はあまり多くは見かけません。掲出句の「羊羹を分厚く」から、漱石の宿痾であった胃病のことや、生地 of 東京下町あたりが思い浮かんできます。文庫本を引っ張り出して、また読んでみたくなりました。

初雪や荷物小さめに入院す 青木静枝

「荷物小さめ」の提示が、像をはっきり見せる働きをしています。大景の中の小さな荷物と、小さな作者は、いかにも心もとなげです。他の二作品からも、お体のご様子が案じられます。一日も早いご快癒を願っています。

冬の宿売店にある万華鏡 八木 敬

山の中の、小さな温泉宿が思われました。湯治場よりも少し立派かな……。土産物のキーホルダーや、煎餅の箱など並ぶ中に、あの懐かしい万華鏡があったのです。作者は手にとって、きっと覗いて見られたと思います。雪曇りの寒々

とした戸外、心楽しますものとして無い古い温泉宿に、まるで花火が咲いたような万華鏡の出現が、とても印象的です。

春がすみ船高く浮き目を瞠はる 柳美江子

昨日は殊の外風が強く、黄砂の影響もあって、空が一日どんよりとしていました。「春の海」の語感からは、おどかな屈の風景を連想しますが、実際には、春は高波の日が多いのです。季節への驚きが、何とも素直に表現されていて、愛らしい句ですね。

庭の椿一樹一樹に歴史あり 奥山貫司

私の生家にも、狭い庭ながらいろいろの樹木がありました。私の生まれた年に植えられた花蘇芳、ぶらんこを吊って遊んだ無花果の木、ゆすら梅、金柑……。造成のために家がなくなって、一番惜しまれるのが、この庭です。作者のお庭の木は、どんな思い出を語ってくれるのでしょうか。お一人住まいの侘しさを、どんなにか慰めてくれていると思います。切なくて、暖かい気持ちにさせていただきました。

蕪漬ける怪我の癒えたる手のうれし 秋山武子

雪よ積もれ此の身此のまま埋れたし 青木静枝

恙なく冬至南瓜を煮るゆふべ 八木 敬

早春や啼きて鳥の低く飛ぶ 柳美江子

城の徑鶯の音に歩を止めぬ 奥山貫司

天気予報適度にはずれ潮干狩り 雅吉子

## ひろば

### 私のおすすめの 観光場所

3 F 病棟 看護婦

中野 良



この間、ドライブがてら友達と大歩危にある「かずら橋」へ行ってきました。

高知市内から車で約1時間半程度で着きます。たいした観光地ではないだろうと、あまり期待はしていなかったのですが、思いがけず楽しかった事が1つ…。

というか、笑えることが1つ……。

木の坂とロープでできたつり橋と、こじんまりとした滝があるのですが、そこから少し坂道

を登っていくと、(坂道を歩くのが嫌な方には定期的にバスが出ています。)

そこには自然の洞窟があり、左側の洞窟は地獄めぐりになってます。なかなか迫力のある、えんま様と地獄の鬼が様々な地獄を見せてくれ、怖い物見たさも手伝い、楽しめる場所でした。

左側に、地獄があれば当然右側の洞窟には天国もあるのですが、天国は行ってみたいのお楽しみということで、恋人同志でぜひどうぞ!

必ず、大笑いができると思いますよ。

注意: 18歳未満の方は入天<sup>①</sup>になってましたので、18歳未満の方は、18歳過ぎてからどうぞー。



## 一年が過ぎて

看護学生

中西 美幸



看護学生になって一年が過ぎようとしています。本当に早くあつという間でした。親元を離れた新しい生活は、なかなか慣れることができず、病院と学校との両立は私が思ったよりも厳しく大変でした。

でも病院で働くと、実際に患者さんとふれあうことができ、自分にとって、どれだけ勉強になったか分かりません。看護婦さんにもやさしく教えていただき、本当に感謝しています。

去年10月には戴帽式も終え、キャップをもらいました。戴帽式は私が看護婦になるために歩いていく道での一つの節目だと思います。

今、自分はたくさんの人に支えられていると思います。いつでも見守ってくれる家族と、指導して下さる学校の先生方、そしてお世話になっている院長先生をはじめとする病院の皆さんにご迷惑をかけないよう頑張って勉強し、頼られる看護婦になりたいと思います。

## ニューフェイス紹介



乾 沙織さん  
看護婦  
信貴山看護専門学校卒  
趣味 お花



戸田 喜美さん  
看護助手  
佐川高校卒  
趣味 ソフトバレー・水泳



高橋 利恵さん  
看護婦  
県医師会准看護学院卒  
趣味 読書



松村 美和さん  
看護婦  
旭川荘厚生専門学院第一看護科卒(岡山県)  
趣味 料理



立花 渚さん  
看護婦  
大洲市私立帝京第五高等学校看護科卒  
趣味 音楽鑑賞



伊勢脇真理子さん  
看護婦  
高知中央高校衛生看護科卒  
趣味 読書

## 合格 おめでとうございます

准看護婦試験(2月15日実施)に合格  
伊野部満絵さん 竹原 芳奈さん

## 健康講座のお知らせ

日時 4月22日(土)  
午後2時～3時30分  
演題 「心臓、血管の病気の治療最前線」  
講師 岡村病院 心臓血管外科  
岡村 高雄 院長

日時 5月16日(火)  
午後6時30分～8時  
演題 「忙しい人のための糖尿病講座」  
講師 高知医科大学第一内科助教授  
深田 順一 先生

場所 岡村病院 2階 会議室  
会費 無料

～お誘い合わせのうえ、お気軽にご参加下さい～